

加西ふるさとミーティング 2017 夏 質問等一覧

市内 10 小学校区で開催しましたタウンミーティングでは、「市民が求める病院、地域に必要な医療とは」と題し、自治会運営を担われている皆さまを中心に参加していただきました。会場でお聞きした提案や意見をお知らせします。

今後の病院運営に可能な限り反映させてまいります。

校区名	開催日時・場所	参加者数
泉小学校区	7月25日(火) 19:30~21:00 殿原町公民館	40名
タウンミーティングでのご意見		
No	意見概要	回答
1	平成 19 年度の病院のあり方検討委員会での予測検討結果のとおり、悪い方向へ向かっている。 次の大きな3つの問題点をどうすればよいのか。 勤務医の減少、本館の耐震問題、経営資金難問題	平成 19 年度検討会をふまえ、平成 20 年 12 月から、病院に事業管理者を置き、地方公営企業法全部適用の病院にしました。 医師確保の問題について、当時、研修医を集めて育てる方向性で頑張っていました。医局の力より個人の選択の力が大きくなってきており、研修医は専門を深く学べる大病院を選ぶ傾向にあります。当時、市に市民病院があることが重要とし、病院経営上も、医師確保のためにも、急性期の病院である必要があるとの判断でした。現在は、包括ケア病棟をつくり、急性期（発病から間もない時期）と包括ケア病棟（急性期の後 60 日間入院できる病棟）で、病院のバランスをよくして進めています。 耐震化の問題は、同じ敷地で建て替える方法、また 260 床を減らすならば、全面的な建て替えも視野に入れて検討する必要があると考えます。 全国的な医師不足、医療崩壊といわれた時期、最初に立ち直ったのは加

		<p>西病院です。この時期に合併をしていると、今の病院は無くなっていました。</p> <p>市民の方々に、急性期病院が必要かどうかの意見をいただきたい。</p> <p>地域の病院を利用することにより、病院を盛り上げていただきたい。</p>
2	<p>加西市医師会との連携は。</p> <p>県内の大病院の成功事例は。</p>	<p>内科医不足を加西市医師会と連携して助けてもらっています。</p> <p>自治体病院協議会があり、いろいろな課題を議論しています。その中で、加西病院の地域包括ケア病棟2棟は先進的な取り組みです。</p>
3	<p>私立病院と公立病院の違いは。</p>	<p>私立病院の多くが、介護施設と医療施設の両方を持ち、両方で収益を上げる方策をとっています。</p> <p>また、多くの私立病院は、夜間診療、土日診療を行っています。</p> <p>加西市では、民間医療機関と公立病院ですみわけしています。</p>
4	<p>黒字病院の良いところを見習い、利益の出る改革を進めて頑張ってほしい。</p>	<p>公立総合病院は、不採算部門、たとえば救急、産婦人科、小児科部門なども担っていかなければなりません。加西病院の特徴として、臨床研修医を多く抱えていくための総合病院のあり方とも関係していることが要因です。民間病院のいいところも取り入れて、改善を進めていきたい。</p>
5	<p>入院で、2週間で転院したケースがあり、そこで、また骨折して再入院したと聞いた。継続診療ができるようになったとのことで、加西病院だけで、長期入院が可能になったことはありがたい。</p>	<p>急性期で10日程度、病棟は変わりますが、包括ケア病棟で60日程度の入院ができるようになっています。</p>

6	外来の待ち時間を減らせないか。	サービス向上委員会を開催し、待ち時間調査、満足度調査をしています。予約診療では待ち時間は減っていますが、初診では時間がかかります。看護師の声掛けで時間の有効活用を図っていますが、なかなか待ち時間は減っていません。 今後、スマートフォン等を活用したシステム変更で対応できないか検討中です。
7	研修医が加西に戻ってきてもらえる工夫はないのか。	初期研修医は、毎年6名程度来ていました。近隣病院に比べても多い方でしたが、近隣病院でも受け入れを始め研修医も減ってきました。研修医もなかなか残らず、3年目以降の研修医も大学病院志向が強い現状です。
8	研修医の住宅貸与などは考えていないのか。	昔は病院が建てた官舎でしたが、今は民間の質の高い住宅を借り上げて確保しています。